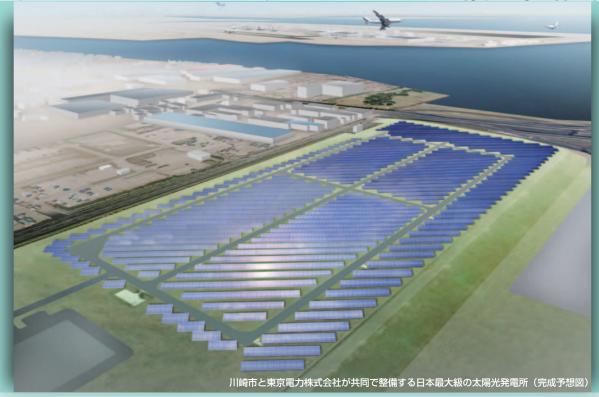
臨海部活性化シンポジウム2009

を軸にした世界経済の再編成一



―未来を拓く世界の拠点へー

わが国の基幹産業が集積する川崎臨海部では、 いま、地球規模で人々の幸福に寄与する世界の拠点 となることを目指し、さらなる産業基盤の強化と 持続的発展への挑戦がはじまっています。

このシンポジウムでは、

臨海部に関わる川崎市の戦略的な取組を紹介すると ともに、太陽エネルギーなどの新エネルギーを軸に した経済・社会システムを構築するための総合戦略 についての講演、さらに、ソーラーシステムや電気 自動車、リチウムイオン蓄電池など、環境技術開発の リーダーとして、臨海部におけるイノベーションの 源泉となる世界企業や関係機関のキーパーソンによる パネルディスカッションを通じて、臨海部発の取組 による未来の世界の方向性を探ります。

日時 平成21年3月27日(金)

13:30~16:30(開場13:00)

- ●会場 羽田空港第1旅客ターミナルビル6F 「ギャラクシーホール」
- 参加費 無 料(交流会に参加される方は実費有)
- 定 員 380名
- 応募締切

平成21年3月24日(火)まで申込みを受け付けます。 先着順とさせて頂きます。ご参加いただけない場合のみ、 ご通知します。ご参加いただける場合は、通知しませんので、 当日会場へお越しください。

川崎臨海部再生リエゾン推進協議会 NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター

●後 援

独立行政法人 都市再生機構 財団法人 川崎市産業振興財団 経済産業省

川崎臨海部 再生リエゾン推進協議会 について

21世紀型の新たな産業集積の促進と新たな街づくりをテーマとした「川崎臨海部再生リエゾン研究会」での成果を踏まえ、地元産業界、行政、 学識者、地域代表の産学公民が連携し「川崎臨海部再生プログラム」の実践的な推進を目指す組織として平成15年9月に設立されました。

■学 識 者:大西隆、柏木 孝之、久保 孝雄(敬称略) ■企業 委員: 旭化成ケミカルズ、味の素、JFEアーバンリサイクル、JFEエンジニアリング、JFE環境、JFEスチール、JFE都市開発、昭和電工、新日本石油、新日本石油、新日本石油精製、デイ・シイ、東亜建設工業、東亜石油、東京ガス、東京電力、東芝、東燃ゼネラル石油、日本ゼオン、YAKIN川崎、東日本電信電話、富士電機システムズ

乗日本電信電話、富工電機プステム人
■経済団体等:川崎港連協会、川崎港振興協会、川崎南工会議所、川崎南工場振興会、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、東扇島協議会
■地域代表:川崎区連合町内会、大師地区町内会連合会、川崎中央商店街連合会、大師商店街連合会、田島商店街連合会、川崎駅前商店街連合会
■官公庁:川崎市、川崎市産業振興財団、都市再生機構
■オプザーバー:内閣官房地域活性化統合事務局、経済産業省国土交通省、神奈川県、日本政策投資銀行、日本貨物鉄道、産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構、浜銀総合研究所

局:川崎市総合企画局·経済労働局、川崎商工会議所

NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンター

について

川崎臨海部立地の有志企業メンバーなどが発起して、NPO法人として平成16年8月に設立されました。

産官学、市民との連携のブラットフォーム機能を発揮し、産業の活性化や環境・エネルギー問題の解決に貢献する活動を推進しています。 ■企業会員:旭化成ケミカルズ、味の素、三愛石油、JFEアーバンリサイクル、JFEエンジニアリング、JFE環境、JFEスチール、昭和電工、新日本石油、新日本石油精製、デイ・シイ、東亜建設工業、東亜石油、東京ガス、東京電力、東芝、東燃ゼネラル石油、日本ゼオン、浜銀総合研究所、富士電機システムズ、YAKIN川崎

臨海部活性化シンポジウム2009 平成21年3月27日(金)

13:30 開会挨拶

川崎臨海部再生リエゾン推進協議会 会長 東京大学 教授

隆 大西

13:35 来賓挨拶

川崎市長 阿部 孝夫

13:45 基調講演

「太陽経済の時代」を拓く総合戦略

川崎市市政アドバイザー 千葉商科大学 学長

島田 晴雄

|14:15||パネルディスカッション

「新エネルギーを活用した社会システム | の開拓

コーディネーター

川崎市市政アドバイザー 千葉商科大学 学長

島田 晴雄

パネリスト

東京電力株式会社 取締役副社長

猪野 博行

シャープ株式会社

執行役員ソーラーシステム事業本部

村松 哲郎

本部長

エリーパワー株式会社 代表取締役社長

吉田 博—

独立行政法人

新エネルギー・産業技術総合開発機構

理事

小井沢 和明

川崎市長

阿部 孝夫

15:30 閉会挨拶

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所 副所長

福島 洋

(以上、敬称略)

15:40 交流会(16:30 終了)

「飲食を交えながらのご懇談(実費:2.000円)」

申込み用紙に記入のうえFAX、 又は、URLにて送信して下さい。

《申込み・お問合せ先》

- シンポジウム事務局
- ●お問合せ先 TEL: 045-502-6893
- 申込み方法

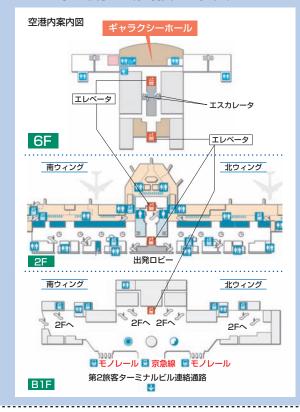
下記のいずれかで申込みください。

- ①下記申込み用紙によるFAX (045-502-6133)
- ②インターネット(アドレス:http://www.lcie-npo.jp/moushikomi/)

[会場]

羽田空港第1旅客ターミナルビル6F 「ギャラクシーホール」

(交通)東京モノレール・羽田空港第1ビル駅下車、 京浜急行空港線·羽田空港駅下車



送信先FAX: 045-502-6133

臨海部活性化シンポジウム2009申込み用紙

(交流会参加の可否欄に必ず) 印を記入願います。)					
氏 名 (フリガナ記入)	交流会参加 の可否	会社名・所属・役職	電話番号		FAX番号
フリガナ	参加				
	不参加				
住所:〒			E-mail		
フリガナ	· 参加				
	不参加				
住所:〒			E-mail		
フリガナ	参加				
	不参加				
住所:〒			E-mail		